
魔法少女マジカル ムギちゃん

セイバー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女マジカル ムギちゃん

【Nコード】

N0105BA

【作者名】

セイバー

【あらすじ】

私、琴吹紬、通称ムギ。タクアンみたいな太い眉毛が特徴な軽音部のキーボード担当の女の子。でも私には秘密があります……。それは……。私は魔法少女なのです!!

桜ヶ丘高校音楽室

ムギ

「私、琴吹紬、通称ムギ。タクアンみたいな太い眉毛が特徴な軽音部のキーボード担当の女の子。でも私には秘密があります……それは……
そういうとムギの体が光る。すると魔女っ娘みだいた格好になった。

私は魔法少女なのです!!」

唯

「わ〜ムギちゃんす〜い」

そういうながら拍手を送るのは、軽音部のギター担当の平沢唯。

あずにゃん

「……」
「……」
「……」
「……」

そうシッコむのは後輩のあずにゃんこと、中野梓である。

その1

律

「ふんふんぷん」

鼻歌歌いながら歩いてくるのは軽音部部长長田井中律である。彼女の後ろには、ボールが彼女に向かって飛んでくる。律はボールの存在には気づいていない。

ムギ

「律っちゃん！危ない！」

そういうと魔法少女姿になったムギはタクアンが先端になっているステッキを振りかざした。なお、ムギは魔法少女になるのは0.01秒である。そして、定番である魔法少女であることは別に秘密になっていないし、ペナルティもない。ご都合主義である。(笑)話を元に戻そう。ムギの魔法によって律の体はボールを避けた。そして……、

ゴンー!!

律はその辺の壁に激突し、どこからか降ってきたタライに頭を直撃した。(笑)

ムギ

「ボールに当たらなくてよかったわね律っちゃん」

律

「ボールに当たった方が軽傷ですんだわー！ー！ー！ー！(泣)」

その2

澪

「なあ、ムギ」

ムギ

「なに、澪ちゃん」

軽音部のペット兼新入部員のスツポンモドキのトンちゃんにエサをあげているムギは軽音部のメンバーの秋山澪に相談を持ちかけられたのだ。その内容とは……

澪

「実は私……好きな人ができたんだ……。だからその……。／／／／／」

ムギ

「ようは相性が知りたいのね。わかったわ、まかせて」
そういうとムギは魔法少女姿になり澪の前に立った。

澪

「どうやって相性を図るんだ？」

ムギ

「こうやって」

ムギは魔法を使った。すると……

ヒュン

澪の頭上に巨大なトゲ付き鉄球が降ってきたのだ。

澪

「痛ただだだだだだだだだだ!!」

ムギは澪から流れた血を調べると

ムギ

「A型だからまあまあね」

澪

「血液占いだったら聞けばいいだろ!!ん?血……?」

汗）」

漣は恐る恐る自分の頭を触った。すると血でベッタリとしていたのである。

漣

「ひっ、嫌あああああああああああ！！（泣）」

漣は気絶した。なおその後傷はムギによって治された。余談だが、あの後漣は好きだった男性に告白したが玉砕した。（笑）

その3

憂

「待ってー！ーひったくりよー！ー！ー」

唯の妹の憂のバッグがひったくりによって盗まれたのである。

あずにゃん

「大変！早く警察を！ー！ー」

ムギ

「私に任せて」

ムギは魔法を使った。すると……

ドン

ひったくり

「おい、どこをみて歩いて……」

ひったくりは絶句した。なぜなら……

S P

「なにか・・・ようかな？」

黒服のS Pである。

ひつたくり

「何でええええええ!？」

その後S Pによってひつたくり犯は逮捕された。

憂

「ありがとうございます。ムギ先輩」

唯

「ムギちゃん、憂のバッグ取り返してくれたんだって？」

ムギ

「ええ」

あずにゃん

「それで、中身は無事!？」

憂

「そうだった!!!」

憂は急いで中身を確認した。その中身は・・・

憂

「よかつた~~~~全部無事だよ~~~~」

唯の写真である。しかも着替えや入浴の写真もある。

あずにゃん

「盗撮じゃねーか!!!」

唯

「よかつたね、もう盗られちゃだめだよ」

憂

「うん!」

あずにゃん

一切れのタクアンが現れた。

律

「へ？」

あずにゃん

「タクアン？」

ムギ

「いつてらっしやーいーい」

タクアンはUFOに向かって飛んで行った。そしてタクアンに衝突したUFOは爆発し、それに他のUFOが誘爆し、UFOは跡形もなく消滅した。そしてタクアンはそのまま宇宙に飛んでいき、地球に向かってくる隕石に衝突し、隕石も跡形もなく消え去った。

あずにゃん

「地球は救われたんですね……」

澪

「ああ……」

唯

「ムギちゃんすごーいーい!!」

他の全員が茫然とする中唯は目をキラキラさせていた。

律

「ムギ……、いつたい何者？」

ムギ

「さあ、お茶にしましょ」

ムギは律の言葉をスルーした。

こうして、地球の危機は去った。ありがとう、マジカル ムギちゃん!!これからも頼むぞマジカル ムギちゃん!!

律

「なんだこのシメは……」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0105ba/>

魔法少女マジカル ムギちゃん

2011年12月31日04時46分発行